

クラウド録画カメラサービス



カメラ設置手順

Ver.1.2

最終更新日2022/02/15

ELMO CC-2L	P.2
VIVOTEK FD9166-HN	P.10
AXIS M2025-LE	P.15
AXIS M5054-PTZ	P.26
参考資料 金具一覧	P.35

comonita

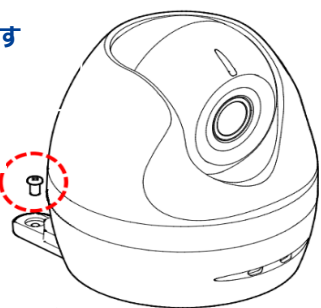
ELMO CC-2L

ELMO CC-2L 取付方法

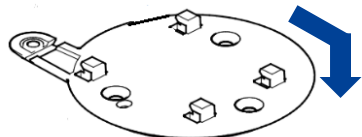
① 本体から取付板を取り外す

※カメラ設置前にパソコンに接続し
初期設定を実施してください。

1.精密ドライバー#1を
用いてビスを取り外す
※小さいの紛失注意

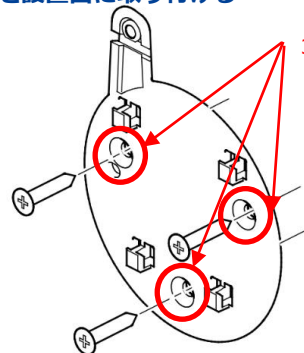


2.取付板を→方向にスラ
イドさせて取り外す

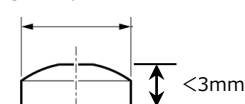


② 取付板を設置面に取り付ける

3点固定する



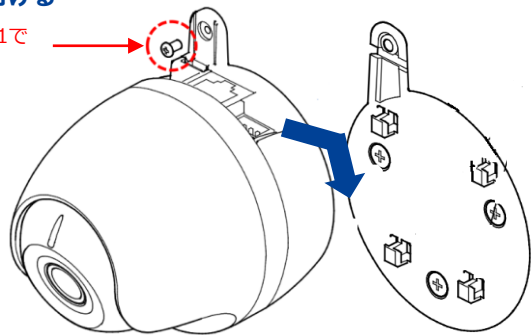
5mm < 7mm



※上記の条件を満たすビスで設置
面の材質や厚さ、強度に合わせた
ものをご使用ください。

③ カメラを取り付ける

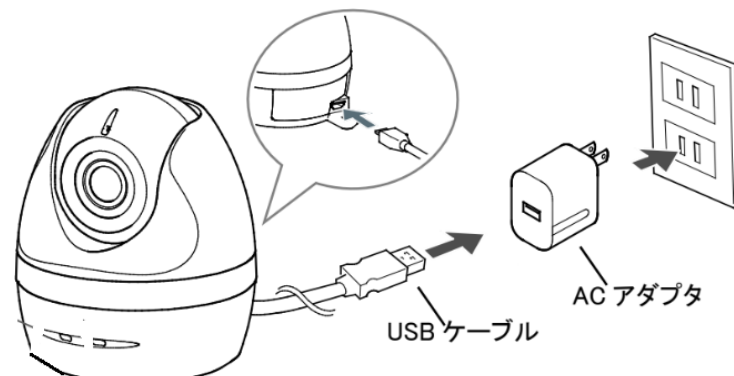
2.精密ドライバー#1で
ビスを取り付ける



1.カメラを→方向にスライド
させて取付板に取り付ける

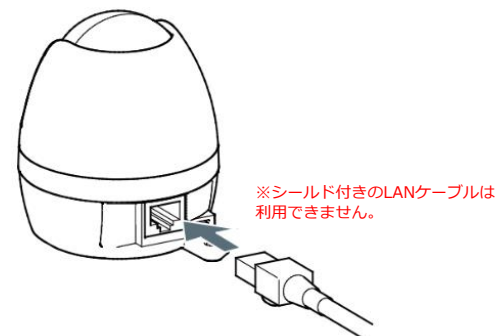
④-1 電源を接続する

※CC-2LをWiFiで利用する場合のみ



④-2 LANケーブルを接続する

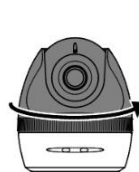
※CC-2LをPoE給電で利用する場合のみ



※シールド付きのLANケーブルは
利用できません。

⑥ カメラの画角を調整する

※画像を確認しながら画角を調整してください。



1.緩める
調整ダイヤル
右方向



2. カメラ角度調整
カメラ部
TILT方向
ROTATION方向



3. 締める
調整ダイヤル左方向



4. 方向を決める
PAN左方向
PAN右方向



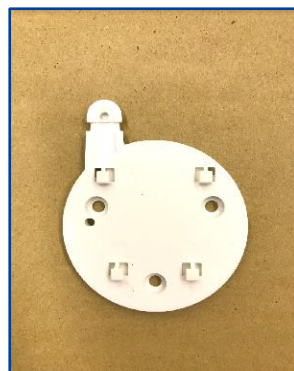
図2-1 ELMO CC-2Lの取付方法 ※中空構造面に設置する場合



①カメラ本体と取付板を固定しているビスを#1プラスドライバーを用いて外す
※ビスの紛失に注意



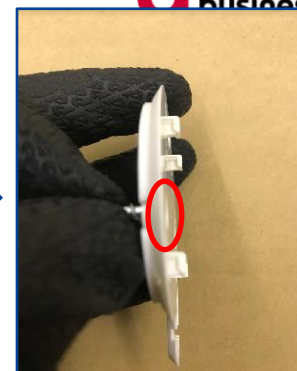
②取付板をスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



③設置場所をきめる
※ずれないようにシール等で仮固定するとO



④設置面に取付板を固定する
※ネジを締める際は手動のドライバーもしくは低速回転の電動ドライバーをご使用ください。



※ビスで固定した際に取付板からビスの頭が出ないものを使用してください。



⑤カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑥カメラ本体と取付板を固定する
※①で取り外したビス



⑦LAN(UTP)ケーブルを接続する
※PoE SWもしくはインジェクター使用



※LAN(UTP)ケーブル接続場所



⑧画角を調整して完了
※画角調整は映像を見ながら実施してください。

⚠ 注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- カメラを設置する前にパソコンに接続し初期設定を実施してください。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルではコースレッド 4.2x32 鍋頭を使用。
- カメラ重量は150g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。

図2-2 ELMO CC-2Lの取付方法 ※コンクリート面に設置する場合



①カメラ本体と取付板を固定しているビスを#1プラスドライバーを用いて外す
※ビスの紛失に注意



②取付板をスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



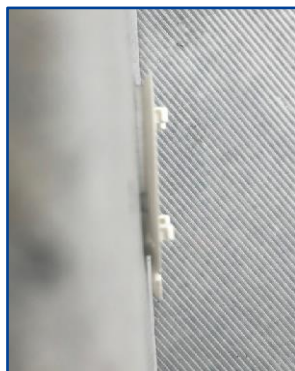
③墨出しをする
※ずれないようにシール等で仮固定するとO



④ドリルで下穴を開ける



⑤設置面に取付板を固定する
※ネジを締める際は手動のドライバーもしくは低速回転の電動ドライバーをご使用ください。



※ビスで固定した際に取付板からビスの頭が出ないものを使用してください。
※利用可能なビスの頭の高さは0mm以下、径はO以下です。



⑥カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑦カメラ本体と取付板を固定する
※①で取り外したビス



⑧LAN(UTP)ケーブルを接続する
※PoE SWもしくはインジェクター使用



※ LAN(UTP)ケーブル接続場所

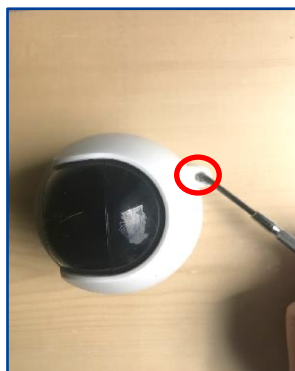


⑨画角を調整して完了
※画角調整は映像を見ながら実施してください。

⚠ 注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属していません。
- カメラを設置する前にパソコンに接続し初期設定を実施してください。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルではコンクリートビスM4-25を使用。
- カメラ重量は150g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください

図2-3 ELMO CC-2Lの取付方法 ※木面に設置する場合



①カメラ本体と取付板を固定しているビスを#1プラスドライバーを用いて外す
※ビスの紛失に注意



②取付板をスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



③設置場所をきめる
※ずれないようにシール等で仮固定するとO



④設置面に取付板を固定する
※ネジを締める際は手動のドライバーもしくは低速回転の電動ドライバーをご使用ください。



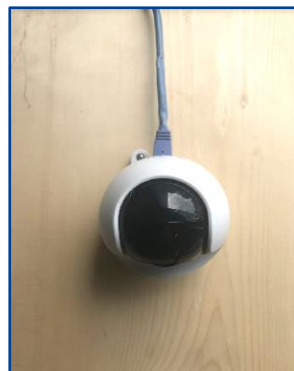
※固定した際にビスの頭が取付板から出ないものを使用してください。



⑤カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑥カメラ本体と取付板を固定する
※①で取り外したビス



⑦LAN(UTP)ケーブルを接続する
※PoE SWもしくはインジェクター使用



※ LAN(UTP)ケーブル接続場所



⑧画角を調整して完了
※画角調整は映像を見ながら実施してください。

⚠ 注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- カメラを設置する前にパソコンに接続し初期設定を実施してください。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルではコースレッド4.2x32 鍋頭を使用。
- カメラ重量は150g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。

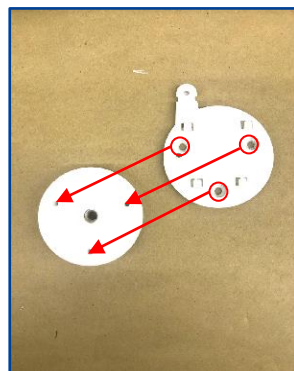
図2-4 ELMO CC-2Lの取付方法 ※ダクトレールフィクサー編



①カメラ本体と取付板を固定しているビスを
#1プラスドライバーを用いて外す
※ビスの紛失に注意



②取付板ををスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



③POM円盤に取付板を付属のM4ビス
で固定する



※金属のネジ穴が出ていない面が
取付板側になります。



※横から見た際にビスの頭が見えな
い位置までビスを締める



④カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑤カメラ本体を固定する
※①で取り外したビス



⑥カメラをダクトレールフィクサーに
固定する ※黒色ネジを回して固定



⑦カメラをダクトレールに固定する



⑧LAN(UTP)ケーブルを接続する



※ LAN(UTP)ケーブル接続場所



⑨画角を調整して完了 ※画角調整は映像を見ながら実施してください。



△注意

- カメラ重量は150g
- ダクトレールフィクサー(DR-1)重量は0.26Kg
※DR-71は0.26Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。

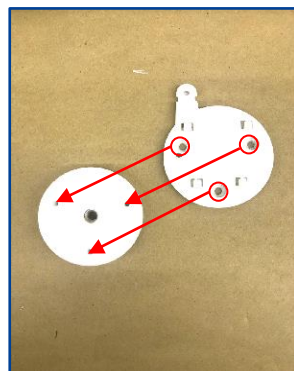
図2-5 ELMO CC-2Lの取付方法 ※フィクサー編



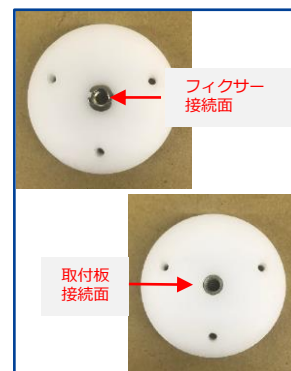
①カメラ本体と取付板を固定しているビスを
#1プラスドライバーを用いて外す
※ビスの紛失に注意



②取付板ををスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



③POM円盤に取付板を付属のM4ビス
で固定する



※金属のネジ穴が出ていない面が
取付板側になります。



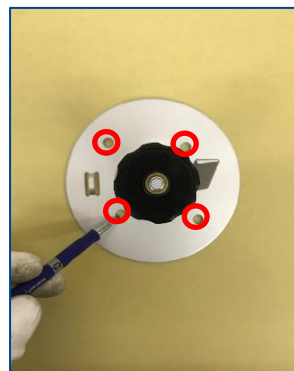
※横から見た際にビスの頭が見えな
い位置までビスを締める



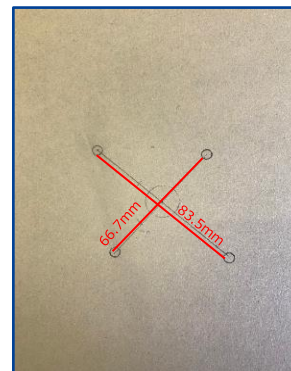
④カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑤カメラ本体を固定する
※①で取り外したビス



⑥設置面にフィクサーをあて墨出しをする。
※固定穴○印4か所



⑦ボードアンカー及び通線口の墨出しを
して開口を開ける



⑧フィクサーを固定しLAN(UTP)ケー
ブルを通す



⑨カメラをフィクサーに固定し、
LANケーブルを接続する



⑩画角を調整して完了 ※画角調整は映像を見ながら実施してください。



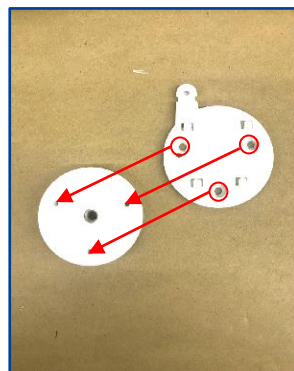
△ 注意

- カメラ重量は150g
- フィクサー(WH-1)重量は0.26Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- サンプルでは頭直径8mmの開脚式のボードアンカーを使用しています。

図2-6 ELMO CC-2Lの取付方法 ※H鋼に設置する場合



②取付板をスライドさせて取り外す
※←方向にスライドさせて取り外す



③POM円盤に取付板を付属のM4ビスで固定する



※横から見た際にビスの頭が見えない位置までビスを締める



④カメラを取付板に固定する
※→方向にスライドさせて取り付ける



⑥H鋼固金具にカメラを取り付ける
※①で取り外したビス



⑦カメラをH鋼に固定しLAN(UTP)ケーブルを接続する



⑧画角を調整して完了
※画角調整は映像を見ながら実施してください。



△ 注意

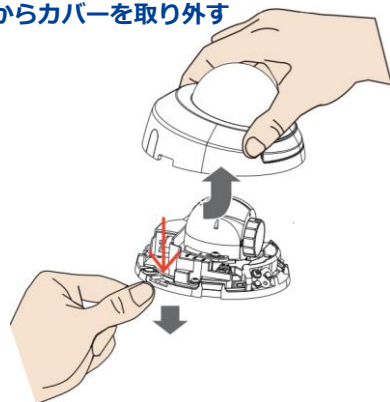
- カメラ重量は150g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。

comonita

VIVOTEK FD9166-HN

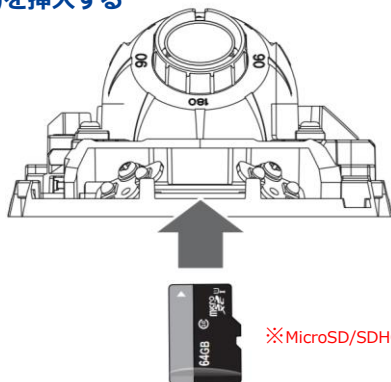
VIVOTEK FD9166-HN 取付方法

① 本体からカバーを取り外す



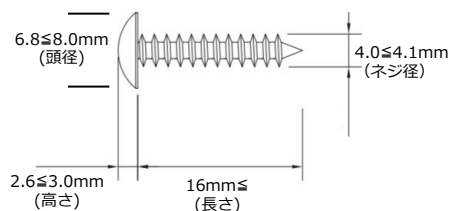
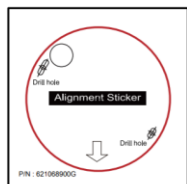
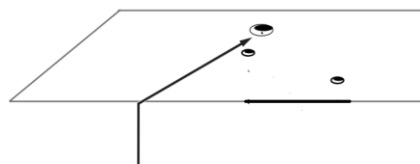
※カメラ本体の引っ掛け穴に指もしくは
- (マイナス) ドライバーで本体を打さな
がらカバーを引っ張る

② SDカード(任意)を挿入する



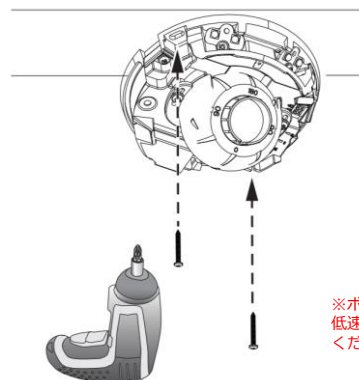
※MicroSD/SDHC/SDXCに対応

③ 設置面に墨出しシートを貼り通線口及び固定用の下穴の墨出しをする



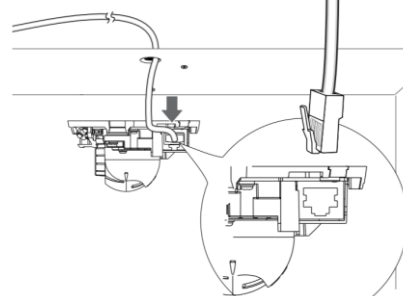
※LAN(UTP)ケーブルを側面から取り込む場合は通線口は不要
※カメラをビスで固定する場合は固定用の下穴は不要
※ビスは上記の要件を満たすものであれば付属品以外も利用可能です。
※付属のビスはM4ラッピングビス(ネジ長25mm, 頭径6.8mm, ネジ高2.8mm)

④ カメラを固定する

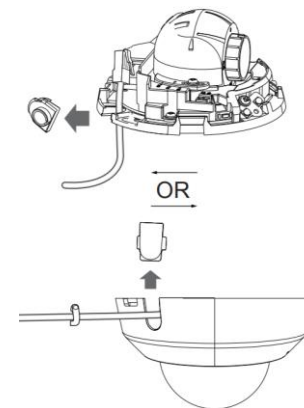


※ボードや木面にビスで固定する場合は空回り防止のため
低速回転の電動ドライバーもしくは手動ドライバーを用いて
ください。

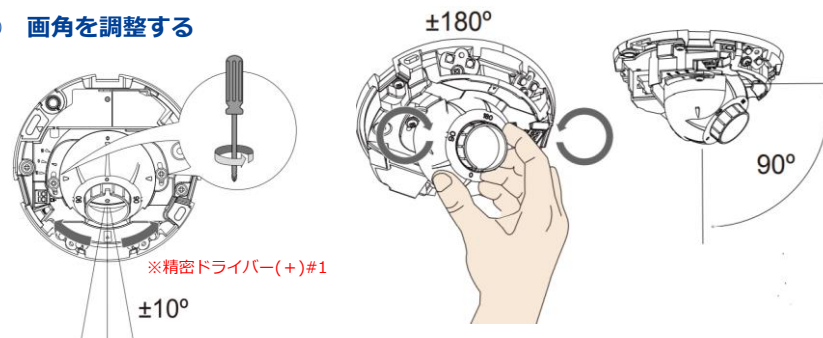
⑤ LAN(UTP)ケーブルを通す



※背面からLAN(UTP)ケーブルを取り込む場合は
RJ45プラグをつける前に通線してください。



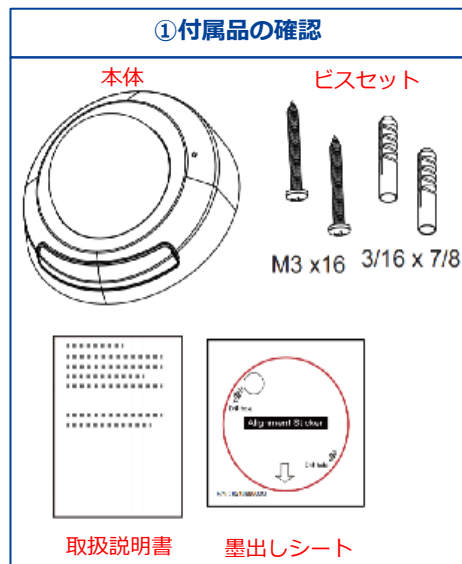
⑥ 画角を調整する



※精密ドライバー(+) #1

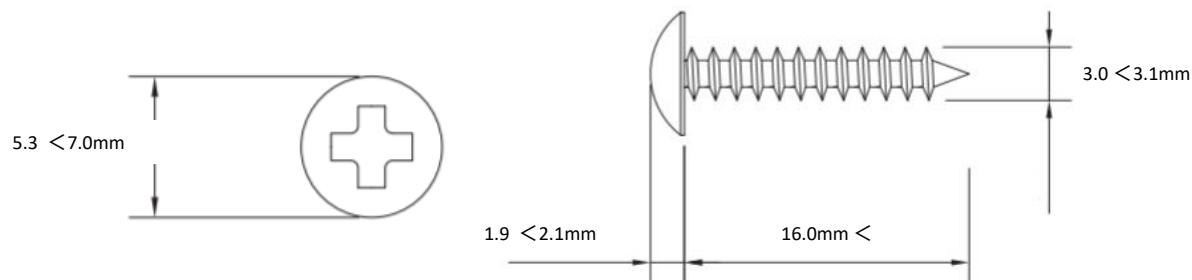
※画角調整は画像を確認しながら実施してください。
※画角調整時はレンズに触れないでください。
※画角調整後はカバーを取付てカバーのフィルムを剥がしてください。

■ 設置準備



■ 補足

- ・ 設置面の素材や厚さ、下地の有無等をご確認いただき適切な固定方法を選定してください。
- ・ 使用するビスは以下の条件を満たすものであれば付属のビスセット以外もご使用になれます。



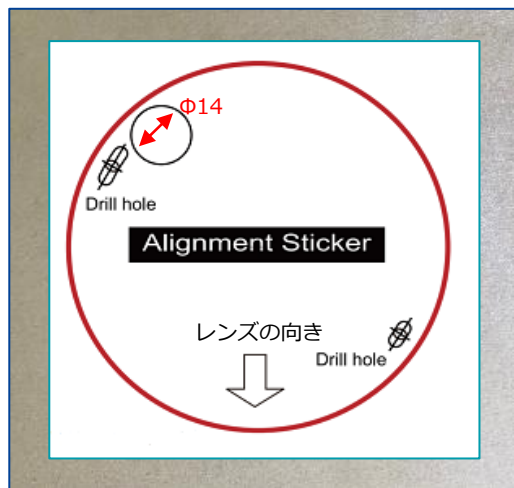
カメラ本体の厚みは2.0mm

VIVOTEK FD9166-HN 取付方法

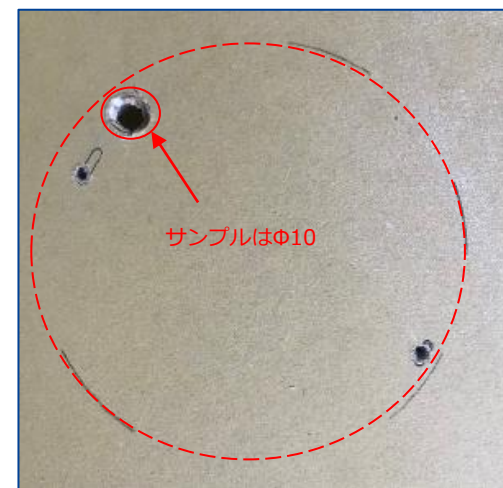
■石膏ボード面



①設置面にビス穴と通線口の墨出しをする
※本体が軽いのでアライメントシートを用いなくても大丈夫。



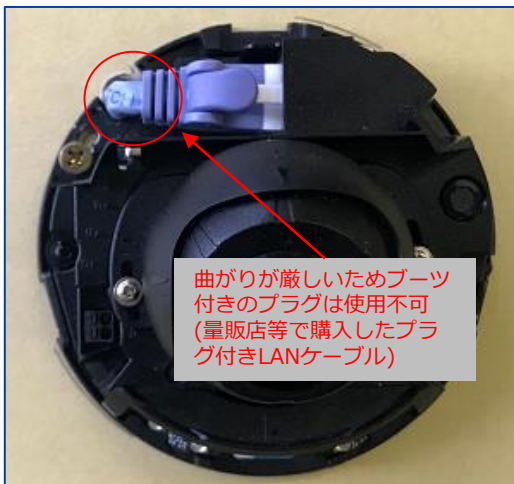
②通線口とビス穴に墨出しする
※通線口は本体円の内側に開ける



③通線口φ14をボード用ビットで開ける
※取説ではφ14ですがビス穴に近くなりすぎるためサンプルではφ10の通線口を開けています。



④LANケーブルを通してプラグを取付する
※φ14でもプラグ付きだと通線口を通らないためLANケーブルを通した後にプラグを取り付ける。



⑤LANケーブルをLANポートに接続する
※サンプルのためブーツ付きのプラグですが実際はブーツ付きのプラグは使用不可です。
※Panduti社のCat.6のRJ45やCat.6A等は曲がりがないため使用不可



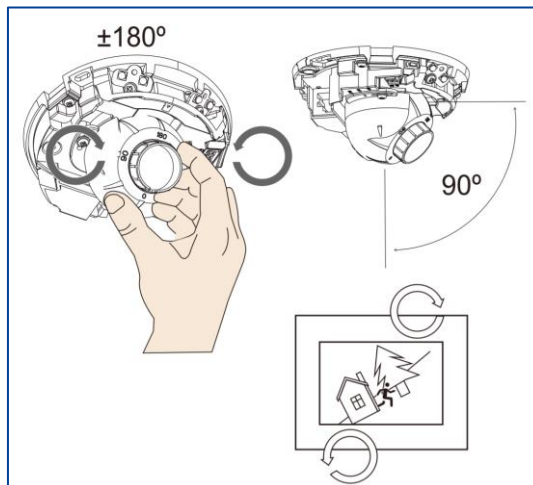
⑥レンズの角度を調整しカバーを閉める
※被せて押すと金属の爪で固定される構造

VIVOTEK FD9166-HN 取付方法

■補足



※IR LEDの照射角(垂直70°水平140°)は固定です。



※画角調整は手動

※IR LEDの照射角(垂直70°水平140°)と距離10Mに注意



※壁面にカメラを設置し、LANケーブルをカメラの側面から出す場合は隙間から埃が入るのでエアコン粘土等で塞ぐ



※固定後にカバーを外す際は⇒方向に垂直に引っ張る。
※透明のレンズカバーではなく白い部分を摘まんで引っ張るとカバーを本体から外すことができます。



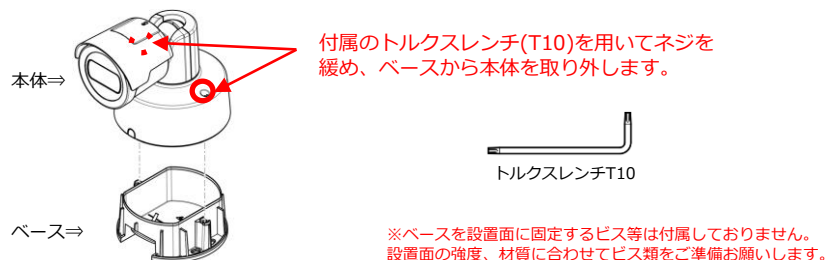
※木板面に設置する場合もネジ径3.1以下、長さ16mm以上、頭径7mm以下の木ビスもしくはコースレッドであればしっかり固定できます。

comonita

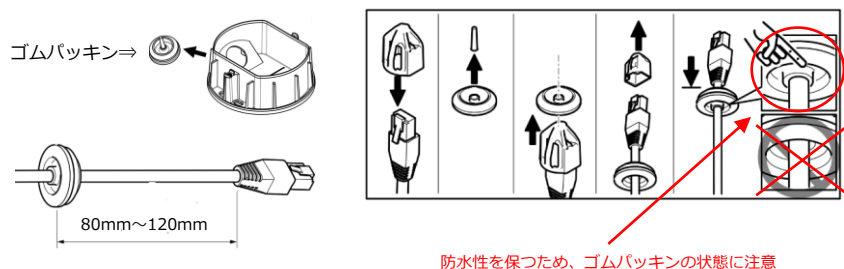
AXIS M2025-LE

AXIS M2025-LE 取付方法

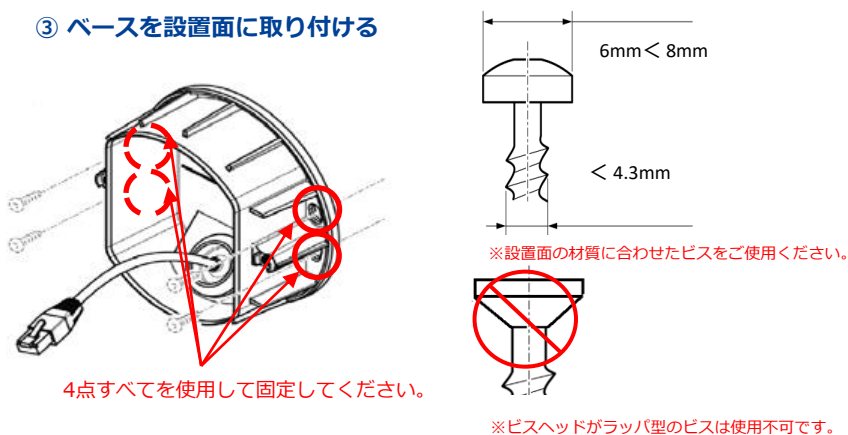
① 本体からベースを取り外す



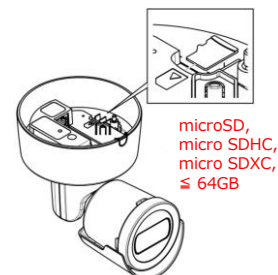
② ベース内のゴムパッキンを取り外し、LANケーブルを通す



③ ベースを設置面に取り付ける

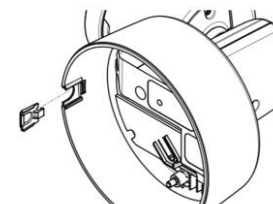


④ 本体にSDカード(任意)を挿入する

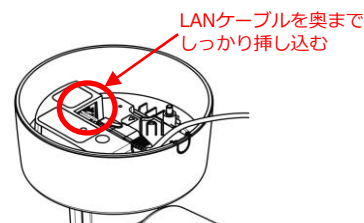


⑤ 入線口のカバーを外す

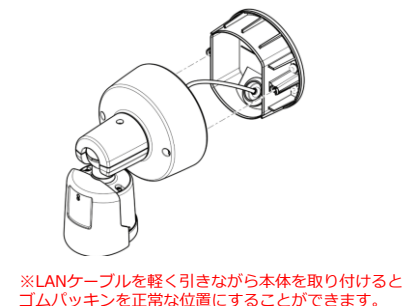
※石膏ボード面等のLANケーブルを隠蔽できる場合は入線口を外す必要はありません。



⑥ LANケーブルを接続する



⑦ 本体をベースに取り付ける



⑧ カメラの画角を調整する

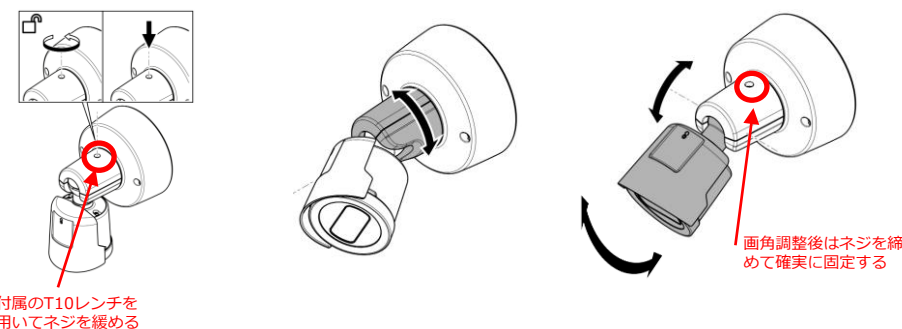
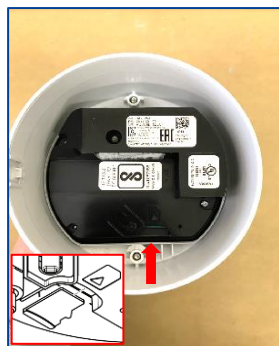


図3-1 AXIS M2025-LE 取付方法 ※中空構造面に設置する場合



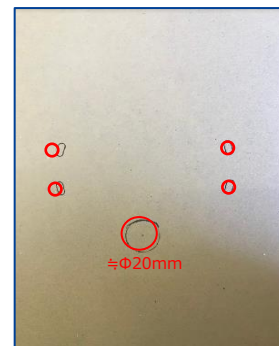
①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



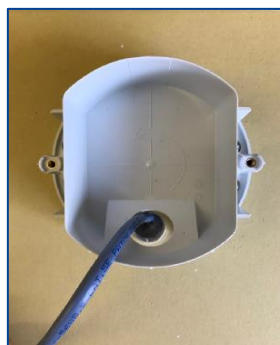
③ベースを設置面にあて墨出しする。
※固定穴○印4か所、通線口○印1か所



④取付穴4か所、通線口1か所を開ける。
※カメラの固定に下穴が不要なビス等を使用する場合は通線口のみ開ける



⑤ボードアンカーを取り付ける
※サンプルではネジ径M4の開脚式のボードアンカーを使用しています。



⑥ベースを設置面に固定し、LANケーブルを通線口から通す



⑦付属の保護キャップをRJ45プラグに被せる



⑧付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑨LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80~120mmにする。



⑩LANケーブルを本体のLANポートに接続する
※カチッと音が鳴るまで差し込む



⑪ゴムブッシングを取付後にカメラ本体をベースに取り付ける
※T10ビス2か所



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



⑫保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。



⑬完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。

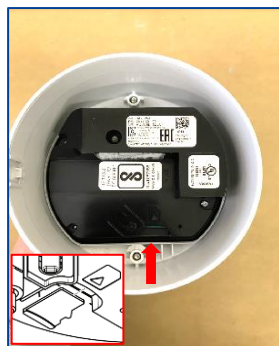
△注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは石膏ボード壁用ボードアンカーを使用。
- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図3-2 AXIS M2025-LE 取付方法 ※コンクリート面に設置する場合



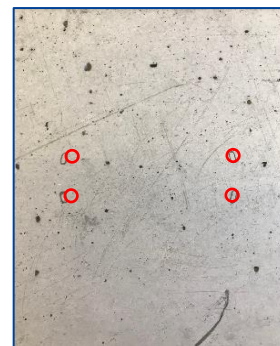
①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



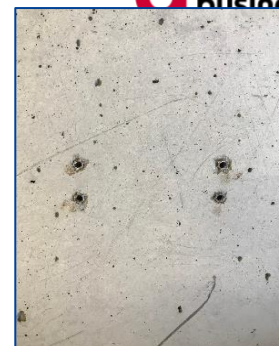
②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ベースを設置面にあて墨出しをする。
※固定穴○印4か所



④取付穴4か所に下穴をあける
※使用するビスやプラグに合わせた径の下穴をあけてください。



⑤カールプラグを下穴に埋め込む



⑥ベースを設置面に固定し、LANケーブルを通線口から通す



⑦付属の保護キャップをRJ45プラグに被せる



⑧付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑨LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80-120mmにする。



⑩LANケーブルを本体のLANポートに接続する
※カチッと音が鳴るまで差し込む
※水が当たる壁面に設置する際は○印の通線口が下になるように設置してください。



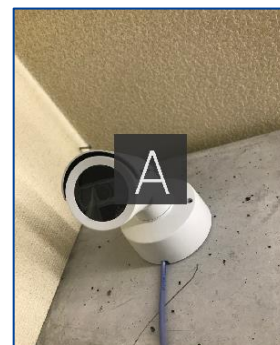
⑪ゴムブッシングを取付後にカメラ本体をベースに取り付ける
※T10ビス2か所



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



⑫保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑬完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。

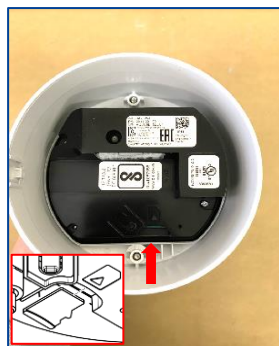
△注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは#8x30のカールプラグとネジ径3.5のタッピングビスを使用
- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

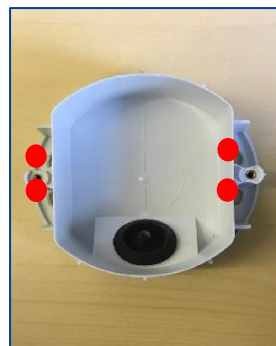
図3-3 AXIS M2025-LE 取付方法 ※木板面編



①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ベースを設置面に固定する。
※固定穴●印4か所
※サンプルのビスは4.2x32 鋼頭のコースレットを使用



④ベースを設置面に固定し、LANケーブルを通線口から通す



⑤付属の保護キャップをRJ45プラグに被せる



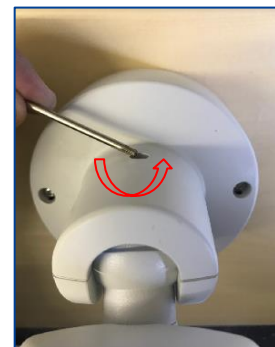
⑥付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑦LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80-120mmにする。



⑧LANケーブルを本体のLANポートに接続する
※カチッと音が鳴るまで差し込む



⑨保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑩完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。

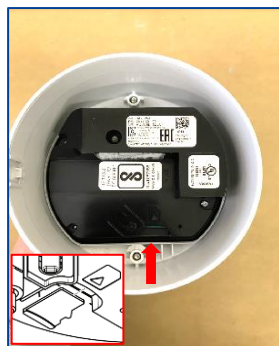
△注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは4.2x32 鋼頭のコースレットを使用
- カメラを木板に設置する際は板割れ防止のため低速回転の電動ドライバーもしくは手動ドライバーのご使用をお勧めいたします。
- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図3-4 AXIS M2025-LE 取付方法 ※ダクトレールフィクサー編



①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



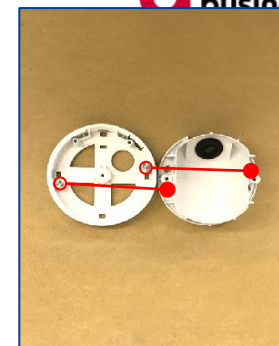
②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ライティングレールにフィクサーを取り付ける



④LANケーブルをコンジットバックボックスとベースに通した後に2つを固定する。



※ベースはコンジットバックボックスの○印2か所のネジで固定する



⑤LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる



⑥フィクサーにカメラを取り付ける。



⑦保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑧完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



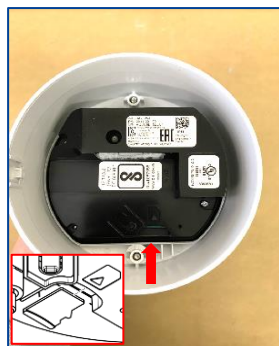
△注意

- カメラ重量は0.5Kg
- ダクトレールフィクサー(DR-1)重量は0.26Kg
※DR-71は0.26Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

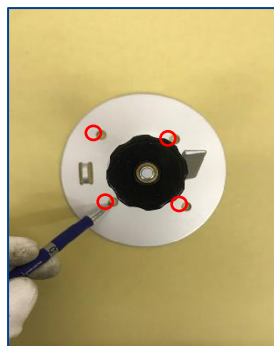
図3-5 AXIS M2025-LE 取付方法 ※フィクサー編



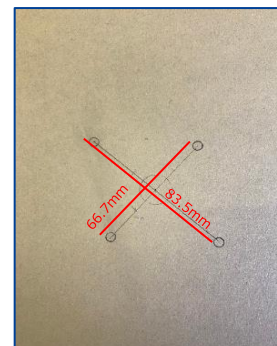
①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



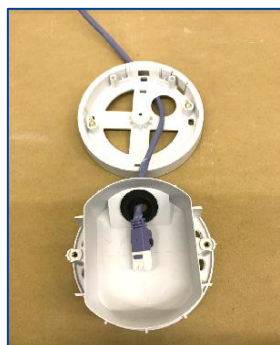
③設置面にフィクサーをあて墨出しをする。
※固定穴○印4か所



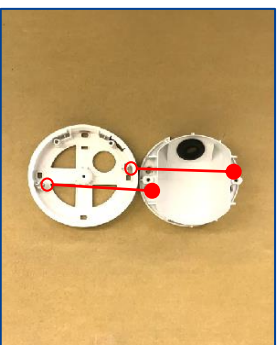
④ボードアンカー及び通線口の墨を題して開口を開ける。



⑤LANケーブルを通しフィクサーを固定する。



⑥LANケーブルをコンジットバックボックスとベースに通した後に2つを固定する。



※ベースはコンジットバックボックスの○印2か所のネジで固定する



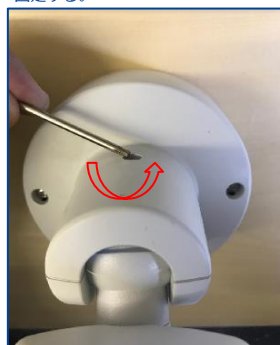
⑦LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる
※カチッと音が鳴るまで差し込む



⑧フィクサーにカメラを取り付ける。



※固定するときはカメラ本体を抑えてフィクサーのネジを時計方向に回す



⑨保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑩完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



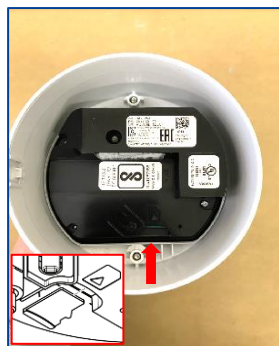
△注意

- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは開脚式ボードアンカーを使用
- カメラ重量は0.5Kg
- フィクサー(WH-1)重量は0.26Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図3-6 AXIS M2025-LE 取付方法 ※単管編



①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ベースと単管クランプを重ねる



④ベースと単管クランプを固定する



⑤ベースの外側からLANケーブルを通す



⑥付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑦LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80~120mmにする。



⑧LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



⑪完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



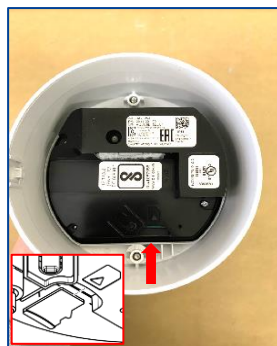
△注意

- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行わずベースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図3-7 AXIS M2025-LE 取付方法 ※H/L/C鋼編



①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ベースとビームラックを重ねる



④ベースとビームラックを固定する



⑤ベースの外側からLANケーブルを通す



⑥付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



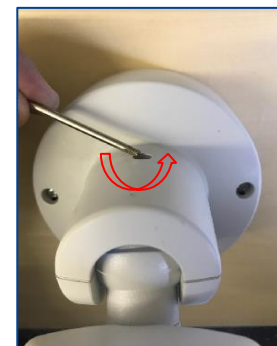
⑦LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80-120mmにする。



⑧LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



⑨保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑩完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



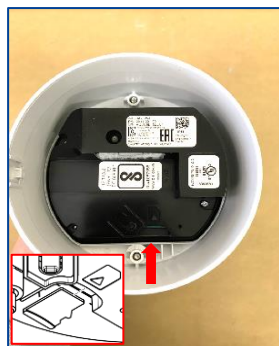
△注意

- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行わずベースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

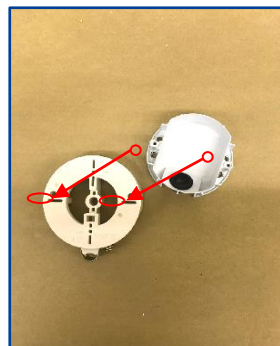
図3-8 AXIS M2025-LE 取付方法 ※吊りボルトに固定する場合



①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③吊りボルト用ビームラックルにベースを重ねる



④ベースとビームラックルを固定する
※M4x20mmタッピングビスを使用し○印2か所を固定する



⑤ベースの外側からLANケーブルを通す



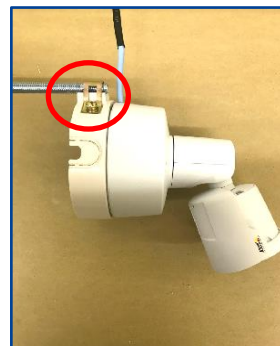
⑥付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑦LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80-120mmにする。



⑧LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる



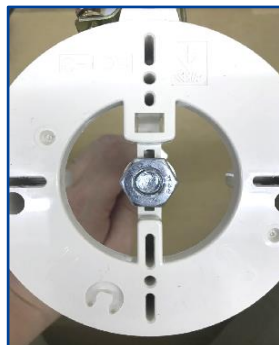
⑨吊りボルトにカメラを固定する
※○印のネジを締めこみボルトを固定する



⑩保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑪完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



※吊りボルト径に適合するナット2個を用いてビームラックルの中心でも固定可能です。



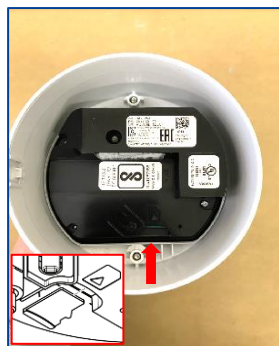
△注意

- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行ってベースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。
- 吊りボルト用ビームラックル及びタッピングビスはセーファーでは取り扱っておりません。お客様にてご用意ください。

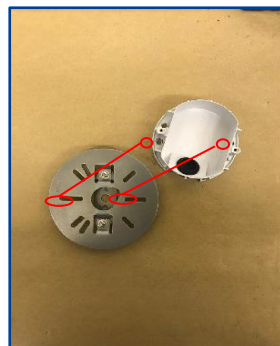
図3-9 AXIS M2025-LE 取付方法 ※円柱編



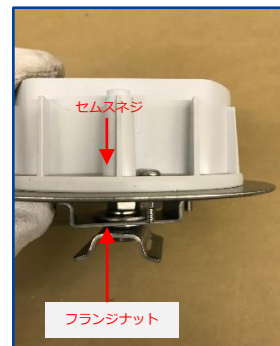
①付属のT10レンチを用い○印2か所のビスを緩め、カメラ本体をベースから取りはずす。
※安定した場所で作業してください。



②カメラ本体にSDカード(任意)を挿入する。
※microSD/SDHC/SDXC ≤64GBに対応



③ベースとカメラ用プレートを重ねる
※○印が重なるようにします。



④ベースとカメラ用プレートを固定する



⑤ベースの外側からLANケーブルを通す



⑥付属のゴムブッシングの突起を取り外す。
※円形部分を抑えながら突起部を引っ張ると取れます。



⑦LANケーブルをゴムブッシングに通す
※カメラ内の予長80-120mmにする。



⑧LANケーブルをカメラ本体のLANポートに接続してカメラ本体とベースを閉じる



※防水性を確保するためにゴムブッシングの○印部分が外側に膨らむようにすること



⑨保護フィルムを剥がして画角調整をする。
※画像を確認しながら調整してください。
※反時計回りで緩める。時計回りで締める



⑩ボールバンド金具にステンレスバンドを通し、ボールに固定する



⑪完了
※画角調整後はT10ビスを確実に締めてください。



△注意

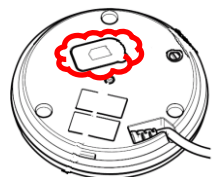
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- カメラ重量は0.5Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

comonita

AXIS M5054-PTZ

AXIS M5054-PTZ 取付方法

① 本体にSDカード(任意)を挿入する



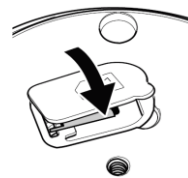
microSD,
micro SDHC,
micro SDXC,
≤ 64GB



1. SDカード(任意)のカバーを外す

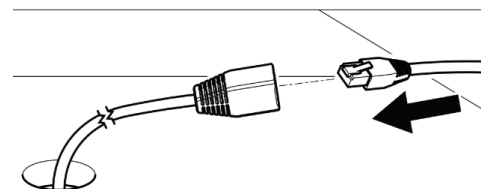
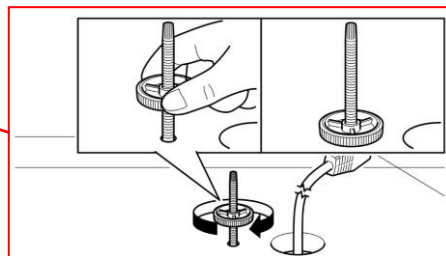
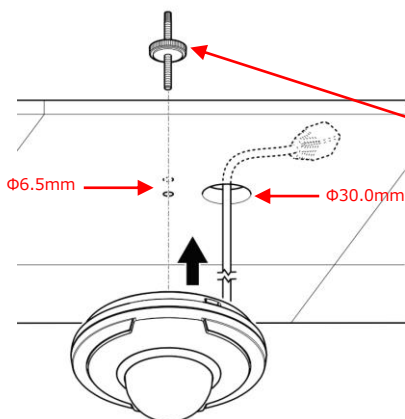


2. SDカード(任意)スロットを引き起こしてSDカード(任意)を挿入する

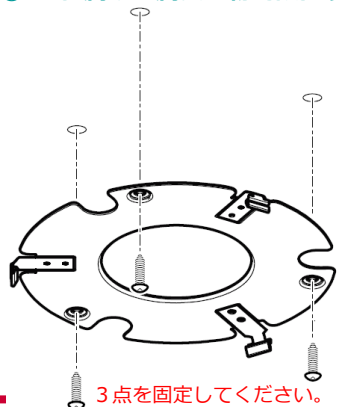


3. SDカード(任意)スロットを畳んでカバーを取り付ける

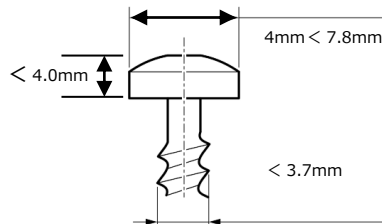
②-1 付属のプラスチック製固定具で固定する



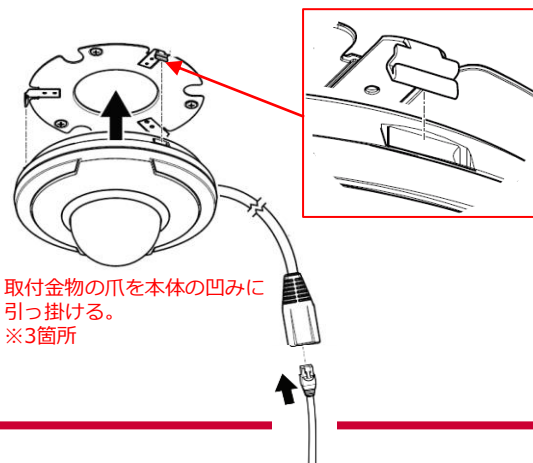
②-2 付属の金属製金物で設置する



3点を固定してください。



※設置面の材質に合わせたビスをご使用ください。



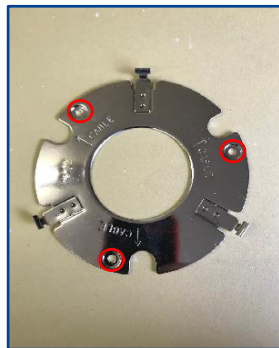
取付金物の爪を本体の凹みに引っ掛ける。
※3箇所

図5-1 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※中空構造面に設置する場合

□付属の金属製取付金物を使用する場合



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②設置面に付属の取付金物をあて墨出しする
※○印3か所



③アンカー本体を取り付ける
※ビスで固定する場合は下穴は不要です。



④取付金物を固定する

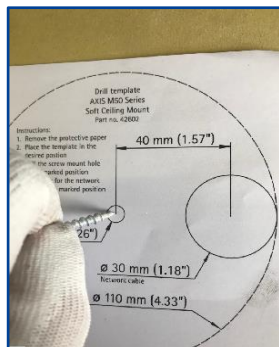


⑤カメラを取付金物に固定して完了
※フィルムを剥がして画像を確認しながら画角を調整してください。

□付属のプラスチック製固定具を使用する場合 ※設置面の背面に手を入れられることが前提の設置方法となります。



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②付属の墨出しシートを設置面にあて墨だしする



③通線口Φ40、固定具穴Φ6.5を開ける



④カメラを固定具で固定する



⑤カメラを固定具で固定し完了
※フィルムを剥がして画像を確認しながら画角を調整してください。



※○印の円盤状の留め具を先に棒に通してください。
※棒をカメラのネジ穴に固定後に留め具を締めてください。

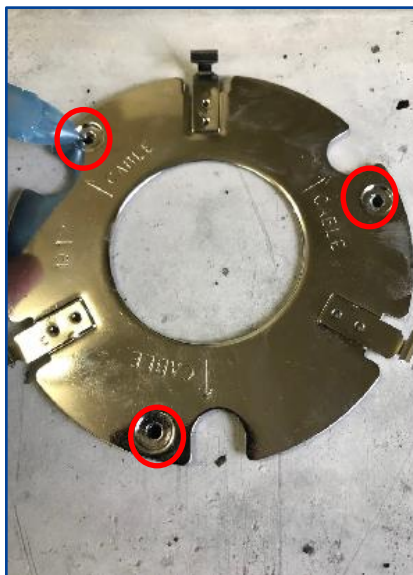
⚠注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- この設置方法は設置面の背面に手を入れることができることが前提となります。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは開脚式石膏ボード壁用ボードアンカーを使用。
- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図5-2 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※コンクリート面に設置する場合



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②設置面に付属の取付金物をあて墨出する
※○印3か所



③下穴をあけプラグを埋め込む
※○印3か所



④取付金物を設置面に固定する



⑤カメラを取付金物に固定して完了
※フィルムを剥がして画像を確認しながら画角を調整してください。

△注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- この設置方法は設置面の背面に手を入れることができることが前提となります。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは#8x25のカールプラグとM4のコンクリートビスを使用
- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図5-3 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※木板面に設置する場合



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②取付金物を設置面にあてビスで固定する
※木割れ防止のため固定に使用するネジ径より細い径の下穴を開けることをお勧めいたします。



③カメラを取付金物に固定し画角を調整して完了
※設置後は保護フィルムを剥がしてください
※画角調整は画像を確認しながら実施してください。

⚠注意

- カメラの固定に用いるビスやアンカーは付属しておりません。
- この設置方法は設置面の背面に手を入れることができることが前提となります。
- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルではM4トラスタッピングビス 32mmを使用
- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズカバーの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

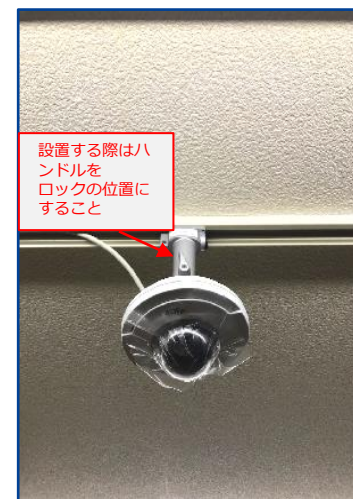
図5-4 AXIS M5054-PTZの取付方法 ※ダクトレールフィクサーで設置する場合



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②カメラをダクトレールフィクサーに取り付ける
※ダクトレールに設置前に取り付ける



③カメラをダクトレールに取り付ける
※設置後は必ずフィルムを剥がしてください。

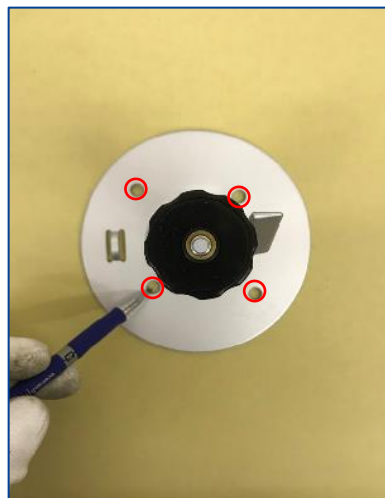
⚠注意

- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

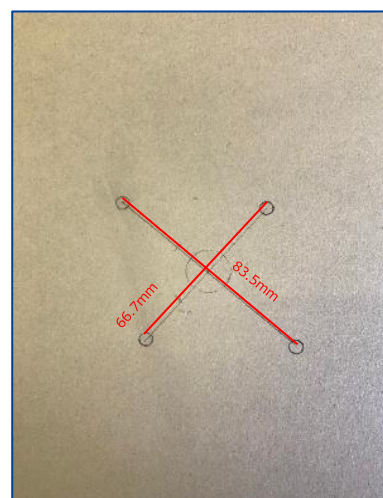
図5-5 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※フィクサーで設置する場合



①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



②設置面にフィクサーをあて墨出しをする。
※固定穴○印4か所



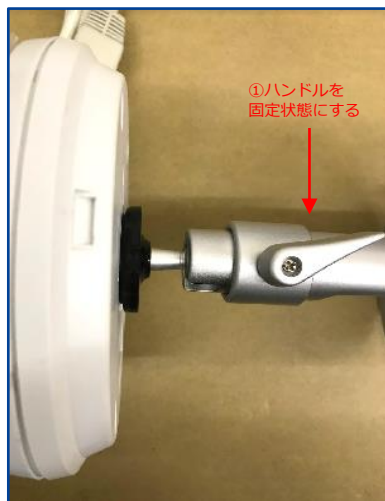
③ボードアンカー及び通線口の墨を題して開口を開ける。
※ビスで固定する場合はこの作業は不要



④フィクサーを固定する



⑤フィクサーにカメラを固定する
※ハンドルを緩めてフィクサの黒色のネジをフィクサー側から見て時計回りに回転させる。



※カメラを固定後はハンドルを固定状態にする

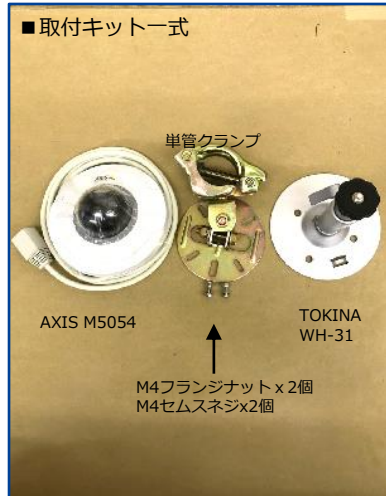


⑥カメラを設置する
※設置後は必ずフィルムを剥がしてください。

⚠ 注意

- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- ※サンプルでは開脚式ボードアンカーを使用
- カメラ重量は170g
- フィクサー(WH-1)重量は0.26Kg
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

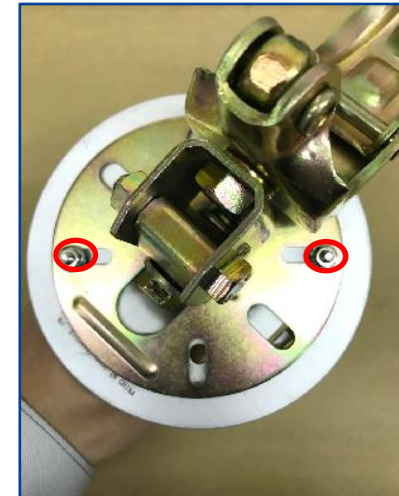
図5-6 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※単管パイプ



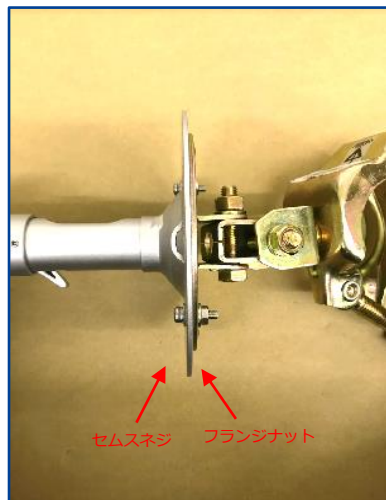
①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



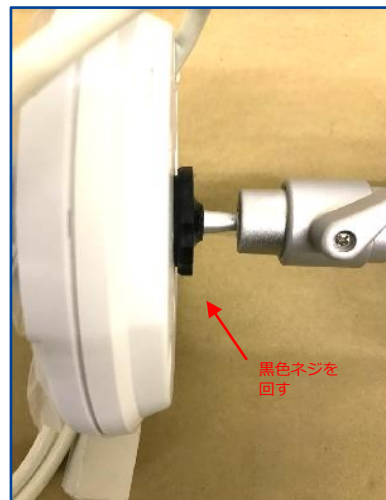
②フィクサーと単管クランプを重ねる



③フィクサーとビームラックルをビスで固定する
※○印2か所



※外側がフランジナット、カメラ側がセムスネジ



④フィクサーにカメラを固定する
※フィクサーの黒色ネジををフィクサー側から見て時計回りに締めこむ

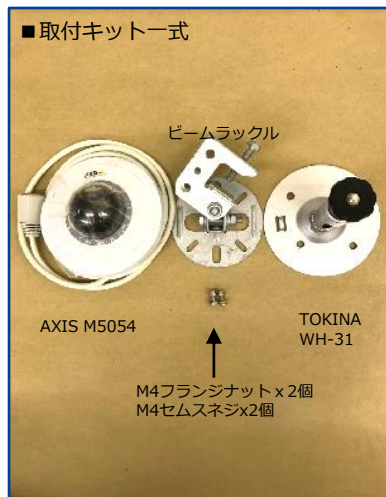


⑤カメラを設置する
※設置後は必ずフィルムを剥がしてください。

⚠ 注意

- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

図5-7 AXIS M5054 PTZの取付方法 ※H/L/C鋼編



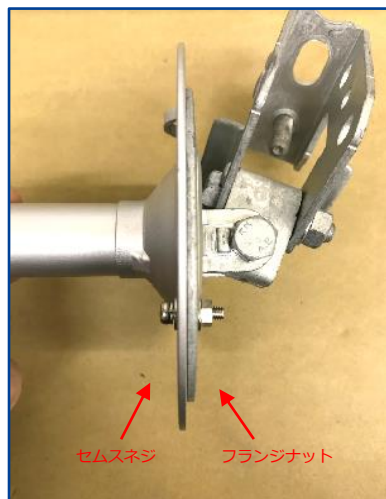
①カメラ背面のSDカード(任意)スロットの蓋を開けてSDカード(任意)を挿入する



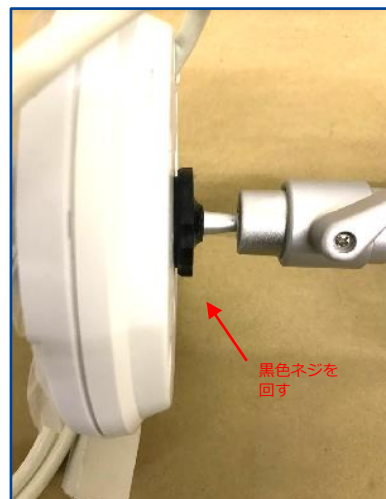
②フィクサーとビームラックルを重ねる



③フィクサーとビームラックルをビスで固定する
※○印2カ所



※外側がフランジナット、カメラ側がセムスネジ



④フィクサーにカメラを固定する



⑤カメラを設置する
※設置後は必ずフィルムを剥がしてください。


















⚠ 注意

- カメラ重量は375g
- カメラの設置場所を決める際は画角調整を行うスペースを確保してください。
- レンズの保護のため、設置完了後までフィルムは剥がさないでください。

coomonitora

参考資料 金具一覧

【参考資料】オプション固定具

	ELMO CC-2L		AXIS M1065L		AXIS M2025-LE		AXIS M3065-V		AXIS M5054 PTZ	
	直付け：天井・壁OK		直付け：NG		直付け：天井・壁OK		直付け：天井・壁OK		直付け：天井OK、壁NG	
天井 (下げる場合)	フィクサー + CC-2L用三脚 アダプター		フィクサー		フィクサー + AXIS T94B01P		フィクサー + AXIS T94B01P		フィクサー	
ライティング レール	ダクトレール フィクサー + CC-2L用三脚 アダプター		ダクトレール フィクサー		ダクトレール フィクサー + AXIS T94B01P		ダクトレール フィクサー + AXIS T94B01P		ダクトレール フィクサー	
H 鋼	CC-2L用 H鋼金具		ビームラックル H・L・C形鋼用 SGA-11D + フィクサー		ビームラックル H・L・C形鋼用 SGA-11D		ビームラックル H・L・C形鋼用 SGA-11D		ビームラックル H・L・C形鋼用 SGA-11D + フィクサー	
その他					■単管 単管クランプ (丸フランジ付) KSTK-F				■壁面 フィクサー	
					■ポールマウント SG-VK1+ ポール用 バンドセット	